

平成21年5月7日

各位

上場会社名 森下仁丹 株式会社
 代表者 代表取締役社長 駒村 純一
 (コード番号 4524)
 問合せ先責任者 取締役経営企画室長 武貞 文隆
 (TEL 06-6761-1131)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年10月29日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,100	130	120	350	16.92
今回発表予想(B)	7,880	200	210	350	16.96
増減額(B-A)	△220	70	90	0	
増減率(%)	△2.7	53.8	75.0	0.0	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	7,387	246	260	361	17.47

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,000	160	150	390	18.85
今回発表予想(B)	7,740	220	240	350	16.96
増減額(B-A)	△260	60	90	△40	
増減率(%)	△3.3	37.5	60.0	△10.3	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	7,197	177	212	360	17.44

修正の理由

昨年秋以降 米国の金融危機を発端とする世界同時不況により消費者マインドが低下しており、売上高につきましては連結・個別とも昨年10月29日に公表した前回予想をやや下回る見込みであります。平成21年1月から稼働した新工場(大阪テクノセンター)での早期生産体制の構築、在庫の圧縮、および全社的な経費圧縮などの結果 連結・個別とも営業利益、経常利益は前回予想を上回る見込みです。

また、当期純利益につきましては、本日公表いたしました「平成21年3月期の有価証券評価損に関するお知らせ」に記載の通り特別損失等は増加しましたが、旧本社工場・研究施設の原状回復工事終了後の平成21年2月の最終土壤汚染調査の結果が良好にて土壌対策費に関して約180百万円の過年度修正益の特別利益が計上できたことから、連結については前回予想程度、個別については若干の下ブレ程度で収まる見込です。

なお、上記旧本社工場・研究施設は、平成19年3月期に売却したものの 新工場の建設が終了し移転が完了するまで、売却先から建物を借受け事業を継続していたものにて、原状回復したうえで平成21年2月土壌汚染調査実施後 売却先に賃借物件を返還しております。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上